



日本医療マネジメント学会 News Letter

第63号

2016年6月1日発行

発行 特定非営利活動法人
日本医療マネジメント学会事務局
〒860-0806 熊本市中央区花畑町1-1
三井生命熊本ビル3階
TEL 096-359-9099 FAX 096-359-1606
E-mail jhm@space.ocn.ne.jp
URL <http://jhm.umin.jp/>

第19回 日本医療マネジメント学会学術総会開催のお知らせ(第1報)

地域を守るあたたかな医療 ～患者・職員の満足をめざして～



第19回 日本医療マネジメント学会学術総会
会長 田所慶一

(独立行政法人国立病院機構仙台医療センター院長)

戦後70年を経過し日本は大きく変わりました。終戦からしばらくは、皆同じように貧しく、限られた資源を分かち合いながら生きてきたのですが、1970年代ごろ

になると次第に国民の間にさまざまな格差ができ、受けることができるサービスに差を生じるようになりました。しかし医療に関しては、国民皆保険制度などにより、誰でも必要な時に必要な医療を受けることが可能となっています。我が国の医療に関しては、OECDの中で投入資源が必ずしも多くない状況で、WHOから高い評価を受けてきました。古代ギリシアの歴史家であるヘロドトスが語るエピソードの中に「古代のバビロニアでは、誰でも病人にどのような病気か訊ねずに、知らぬ顔をして通り過ぎてはならぬことになっている。」(医学の歴史 梶田 昭)とあります。このエピソードのように、我が国の医療現場の多くの方たちが真摯に、献身的に業務に取り組んできたお蔭で、高いレベルの医療が提供されてきたと思われまます。しかし近年は保健医療支出が急速に増加し、効率性を高める必要性も指摘されています。長年培ってきた我が国の質の良い医療を今後も提供し続けるためには知恵を絞る必要があります。ハード面の充実はもちろん重要ですが、職員が安心して働き、持っている力を十分発揮できるようにする工夫が求められます。経営者が医療安全や、感染防止などに関心を持つことは、働く職員にその重要性を示すだけではなく、安心感を与えることとなります。知識、技術を確実に身に着けるための体系的な教育は大変重要です。業務が正確に実施されるために、クリティカルパスの導入、マニュアル類の

整理などによる標準化も必要です。しっかりした経営分析を行い、安定した運営を図ることも求められます。また今後急速に進む高齢化社会に向けて介護の充実も図らなければなりません。安心して働くことができ、提供する医療、介護により成果を上げることができれば、職員はさらに質の改善に取り組み、患者の満足度も向上します。本学術総会では患者・職員の満足を目指し、様々な議論を交して知恵を出して行きたいと考えています。

第19回日本医療マネジメント学会学術総会は2017年7月仙台国際センターで開催予定です。仙台市では第5回以来2回目の開催になります。2015年12月に2本目の地下鉄である東西線が開通しました。JR仙台駅からわずか5分、緑豊かな青葉山のふもと、清流広瀬川のほとりにある国際センターで皆様をお待ちしています。

会 期：2017年7月7日(金)・8日(土)

会 場：仙台国際センター

プログラム(予定)：基調講演、会長講演、招待講演、特別講演、教育講演、教育セミナー、シンポジウム、一般演題(口演/ポスター)、クリティカルパス展示、ランチョンセミナー、市民公開講座等

問い合わせ先：第19回日本医療マネジメント学会学術総会事務局：独立行政法人国立病院機構
仙台医療センター
担当：齋藤 美穂子(TQM推進室)
〒983-8520 仙台市宮城野区宮城野2-8-8
TEL：022-293-1111
E-mail：saimi@snh.go.jp